

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成25年12月19日 (2013.12.19)

【公開番号】特開2011-104360(P2011-104360A)

【公開日】平成23年6月2日 (2011.6.2)

【年通号数】公開・登録公報2011-022

【出願番号】特願2010-248967(P2010-248967)

【国際特許分類】

A 4 5 D 1/00 (2006.01)

A 4 5 D 24/00 (2006.01)

A 4 5 D 1/04 (2006.01)

A 4 5 D 1/08 (2006.01)

【F I】

A 4 5 D 1/00 5 0 3 B

A 4 5 D 24/00 P

A 4 5 D 1/00 C

A 4 5 D 1/00 5 0 2 B

A 4 5 D 1/00 5 0 4 C

A 4 5 D 1/00 5 0 5 A

A 4 5 D 1/00 5 0 5 E

A 4 5 D 1/00 5 0 6 B

A 4 5 D 1/00 5 0 7 B

A 4 5 D 1/04 C

A 4 5 D 1/08 C

【手続補正書】

【提出日】平成25年10月31日 (2013.10.31)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ヘアカール用の装置であって、把持部（2）、第 1 のアーム（4）および第 2 のアーム（5）を備え、

前記第 1 のアーム（4）および第 2 のアーム（5）は、それぞれの第 1 端部（6，7）で前記把持部（2）に接続されており、かつ、長手方向の軸心（X）にほぼ沿って、互いに平行に並列配置されており、

さらに、前記第 1 のアーム（4）および第 2 のアーム（5）のうちの少なくとも 1 つを加熱する加熱手段（24，25）を備えるヘアカール用の装置（1）において、

前記第 1 のアーム（4）が、前記把持部（2）に固定された固定半アーム部（14）と、その固定半アーム部（14）に弾性支持された可動半アーム部（16）とを有し、

前記第 2 のアーム（5）も、前記把持部（2）に固定された固定半アーム部（15）と、その固定半アーム部（15）に弾性支持された可動半アーム部（17）とを有し、

前記第 1 のアーム（4）および第 2 のアーム（5）のそれぞれが、全体としてほぼ半円柱形であり、前記可動半アーム部（16，17）に形成された第 1 の平坦面（18，19）と、前記固定半アーム部（14，15）に形成された第 2 の凸状面（20，21）とを有し、

前記平坦面（１８，１９）同士は対向し、前記凸状面（２０，２１）同士は背を向けるように配置され、

使用中でない状態で、前記第１のアーム（４）の前記可動半アーム部（１６）および前記第２のアーム（５）の前記可動半アーム部（１７）が、前記アーム（４，５）の全長にわたって互いにほぼ並列配置されていることを特徴とするヘアカール用の装置。

【請求項２】

請求項１に記載のヘアカール用の装置において、

使用中でない状態で、前記第１のアーム（４）の前記可動半アーム部（１６）および前記第２のアーム（５）の前記可動半アーム部（１７）が、所定の距離だけ離れて配置されているヘアカール用の装置。

【請求項３】

請求項１または２に記載のヘアカール用の装置において、

前記加熱手段が、第１の加熱要素（２４）および第２の加熱要素（２５）を有しており、その第１の加熱要素（２４）および第２の加熱要素（２５）のそれぞれが、対応する前記可動半アーム部（１６，１７）に収容されているヘアカール用の装置。

【請求項４】

請求項１から３のいずれか一項に記載のヘアカール用の装置において、

前記加熱手段が、第１の加熱要素（２４）および第２の加熱要素（２５）を有しており、その第１の加熱要素（２４）および第２の加熱要素（２５）のそれぞれが、対応する前記固定半アーム部（１４，１５）に収容されているヘアカール用の装置。

【請求項５】

請求項１から４のいずれか一項に記載のヘアカール用の装置において、

前記可動半アーム部（１６，１７）のそれぞれが、対応する前記アーム（４，５）の、前記把持部（２）とは反対側の第２端部（８，９）に、ヘッド部（５０，５１）を有するヘアカール用の装置。

【請求項６】

請求項５に記載のヘアカール用の装置において、

前記ヘッド部（５０，５１）が、断熱材で構成されているヘアカール用の装置。

【請求項７】

請求項１から６のいずれか一項に記載のヘアカール用の装置において、

前記アーム（４，５）のうちの少なくとも１つのアームにおける前記固定半アーム部（１４，１５）の凸状面に、少なくとも１つの畝（７０，７１）が前記長手方向の軸心（Ｘ）を横切って延びるように形成されているヘアカール用の装置。

【請求項８】

請求項７に記載のヘアカール用の装置において、

前記第１のアーム（４）の畝（７０）が、前記第２のアーム（５）の畝（７１）からずれた位置にあるヘアカール用の装置。